

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	マツモト機械株式会社 中部工場	階数	地上2階
建設地	静岡県浜松市北区東三方町281-1	構造	S造
用途地域	地域指定なし	平均居住人員	12 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,976 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2015年4月6日
敷地面積	6,868 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱浜松支店 原
建築面積	3,181 m ²	確認日	2015年4月10日
延床面積	3,494 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱浜松支店 原



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ (30%) ☆☆☆☆☆ (60%) ☆☆☆☆☆ (80%) ☆☆☆☆☆ (100%) ☆☆☆☆☆ (100%超)</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.4</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地が狭いので最大限生産施設にとれるよう配慮した。建物の敷地境界に面する部分に高木を配置し音や景観に配慮した。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に無し 	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 外皮断熱施工(窓SC値:0.48、U値:4.17、外皮U値:0.539 程度) ほぼ全ての建材はF☆☆☆☆適合材料とする 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐用年数 亜鉛メッキ鋼板(海岸地域):25年、硬質塩化ビニル管(給水):40年、ポリブテン管(給湯):30年、硬質塩化ビニル管(汚水・排水・通気):40~60年、鋼管(冷媒):30年を採用 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場立地法を満たす20%以上の緑率と、高木も植えている 西側道路東三方都田線の桜並木に合わせて建物西側にはソメイヨシノを配置
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 外皮断熱施工 LED照明器具採用による消費電力の低減 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 節水型大小便器、自動水栓器具(節水泡沫)、節水コマの採用 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 地表面対策面積率=27.13%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい